

こんにちは 野々市市議会です



富奥公民館 夏の富公祭

9月定例会議案審議・議決結果一覧
各委員会の主な質問と答弁
9月定例会一般質問 11人
12月定例会日程

……2P
……3P
……5P
……16P

令和7年度一般会計補正予算、令和6年度各会計決算認定で議論 下水道管路施設緊急点検業務費用や 北国街道出店事業者に対する補助費用を追加

令和7年第3回9月定例会は、9月1日から25日まで開かれました。
9月定例会では、1億4,399万3千円を追加する補正予算案、令和6年度各会計における決算認定議案に対し議論が行われ、市長提出議案15件は全会一致または賛成多数で可決、認定、同意しました。
補正予算の主な事業内容は、「議員報酬及び議員定数の在り方を考えるシンポジウム」開催費用や議員パソコンの更新費用等の追加をはじめ、北国街道出店事業者に対する補助金、聴覚障害者等の電話窓口バリアフリー化にかかる費用、国から要請のあった下水道管路施設の緊急点検にかかる費用、いじめ防止条例の策定に向けた検討委員会やいじめ防止啓発リーフレットにかかる費用、物価高騰による学校給食の食材料費の不足分を補うための費用です。

議 決 結 果 一 覧

○=賛成、×=反対
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：市民の会（のいち市民の会）、共（日本共産党）、令（令和清栄）、無（無名）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	野々市フォーラム					市民の会					共 同 会	令 政 党	無 議 員	公 民 党	議 員	副 議 員
				三 納 昭 博	田 中 陽 子	島 中 勝 己	小 堀 孝 史	北 村 大 助	中 村 義 彦	中 村 和 流	西 村 雅 博	梅 野 智 恵 子	岩 見 博						
議案第43号	令和7年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和6年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和6年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和6年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和6年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和6年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和6年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和6年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月25日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第51号	野々市市議会議員選挙及び野々市市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	野々市市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	野々市市水道給水条例及び野々市市公共下水道条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	9月1日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	野々市市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	9月25日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月25日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	9月25日	不 採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
議会議案第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議会議案第2号	脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

各委員会の主な質問と答弁

9月11・12・16・17・24の5日間

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

Q 防犯カメラについて、54町内会のうち、どのくらい設置がされているのか。

A 令和7年3月末において、設置町内会数は25町内会、設置台数は59台、町内会設置率は46・3%である。

Q 近年の市職員の退職者について、年齢層の傾向と分析は。

A 以前と比べ若者の退職が増え、資格所有者の早期の退職も増加傾向にあると感じている。対策として、資格職の採用試験において、試験科目の一部免除や、職員が一級建築士に合格した場合にかかった資格取得費用を50万円を限度に助成する制度を今年度から新設している。

Q 福祉複合施設（仮称）野々市つばきの杜センターについて、実施設計において雨水排水を含めた考え方をしているか。



（仮称）野々市つばきの杜センター
【完成イメージ】

A 現在、実施設計を見直す中で、当初は入っていなかった雨水貯留槽の設置が設計上に入ってくる。今回の大雨によって様々なところで被害があったことから、そのことも含めて設計事務所と協議していきたい。

Q 保育対策総合支援事業の安全対策（の対象年齢は。また、令和6年度は実施対象が2施設であったが、今後全施設に対して行っていく事業なのか。園に対して補助の周知は。

A 主に未満児が対象となっている。申請があった施設に対して補助を行っており、昨年度取り組まれた園は2園であった。補助のメニューについては、全施設に案内をしている。

Q 病児・病後児センターあわだが開設し、令和6年度に52名の利用があった。現場において、申し込みはあったが断らなければならない等の状況はあったのか。

A インフルエンザ等の流行時期にはご希望に添えられない事があったと伺っている。



病児・病後児センターあわだ



木谷 直子 議員
(公明)

5歳児健診を実施し、適切な支援や療育につなげスムーズな学校生活スタートを

内部での検討や関係機関との調整を図り、R10年度までの実施を目指していく

- Q 5歳児健診について**
専門家の確保が課題であり、近隣の市町や県と連携し、広域での人材養成や派遣の取組みが大事と考えるが、市長の見解を伺う。
- A 市長** ● 実効性のある5歳児健診を実施するため、石川県における医師も含めた専門職を対象とする研修を実施していただくよう要望してまいりたい。
- Q 子宮頸がんのHPV検査について**
HPV検査は、陽性者は経過をフォローすることで早期発見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。
- A 健康福祉部長** ● HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これらの対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。
- Q 単身高齢者の終活支援について**
身寄りのない方が亡くなられた時の対応について、明確化しておくことは重要であると考え

- Q 5歳児健診について**
専門家の確保が課題であり、近隣の市町や県と連携し、広域での人材養成や派遣の取組みが大事と考えるが、市長の見解を伺う。
- A 市長** ● 実効性のある5歳児健診を実施するため、石川県における医師も含めた専門職を対象とする研修を実施していただくよう要望してまいりたい。
- Q 子宮頸がんのHPV検査について**
HPV検査は、陽性者は経過をフォローすることで早期発見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。
- A 健康福祉部長** ● HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これらの対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。
- Q 単身高齢者の終活支援について**
身寄りのない方が亡くなられた時の対応について、明確化しておくことは重要であると考え

- Q 単身高齢者の終活支援について**
身寄りのない方が亡くなられた時の対応について、明確化しておくことは重要であると考え
- A 健康福祉部長** ● 現在も、さまざまな機会に認知症予防に向けた取り組みを実施している。認知症は、生活習慣病と密接な関係があるが、市の現状と今後の対応を伺う。
- A 健康福祉部長** ● 厚生労働省が定めた手引きを参考にしながら、状況に応じて柔軟な対応に努めている。まずは、これまでの対応事例の蓄積や関係機関との連携を通じて、実務の整理を図ってまいりたい。
- Q 「終活情報登録事業」を実施することで、生前の意思が尊重され、安心して人生の最後を迎えられるようにできないか。**
- A 市長** ● 国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。
- Q 認知症に関する課題について**
認知症を減らすためには、若い世代から認知症予防の知識の普及と意識の醸成が必要である。若い世代を含め、認知症予防の取り組みを強化すべきだ。
- A 健康福祉部長** ● 現在も、さまざまな機会に認知症予防に向けた取り組みを実施している。認知症は、生活習慣病と密接な関係があるが、市の現状と今後の対応を伺う。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/8-Wk-EpL49M>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



本町通り（旧北国街道）の街並み

- Q 広報活動について、ラインの登録者やインスタグラムのリーチ数が増えている。市からのSNS発信等の周知にむけて感じることは。**
- A** 市の情報を市民に伝える手段としてSNSを活用しており、市民のみなさんにより親しみを持ってもらえる情報を、市の若手職員によるSNSチームが投稿している。引き続き、他課と連携しながら登録者数を増やす取り組みを進めていきたい。
- Q 防犯灯をLEDに交換しているのか。**
- A** 市全域の防犯灯のうちLED灯への交換が済んでいる割合は現在88・8%であり、少しずつではあるが交換率が上がってきている。今後も町内会へ積極的に働きかけを行っていきたい。
- Q 中央公園の拡張整備で土地収用をした公有地を、今後整備していくまでの間、雪捨て場とすることはできないか。**
- A** 現在、隣接して「中央公園西線」が整備中であり、アクセ

- Q 管渠の老朽化について、耐用年数を迎えるのは何年後か。**
- A** 市内の下水道が法定耐用年数を過ぎるのはまだ20年ほど先
- Q 酒米「五百万石」の生産農家は軒の農家が生産し、市の農地面積の約1パーセントにあたる約2ヘクタールを作付けしている。日本酒「狸々」は、すべて野々市産の酒米である。**
- A** 酒米「五百万石」は市内の1軒の農家が生産し、市の農地面積の約1パーセントにあたる約2ヘクタールを作付けしている。日本酒「狸々」は、すべて野々市産の酒米である。
- Q 酒米「五百万石」の生産農家は軒の農家が生産し、市の農地面積の約1パーセントにあたる約2ヘクタールを作付けしている。日本酒「狸々」は、すべて野々市産の酒米である。**
- A** 酒米「五百万石」は市内の1軒の農家が生産し、市の農地面積の約1パーセントにあたる約2ヘクタールを作付けしている。日本酒「狸々」は、すべて野々市産の酒米である。



市の特産品
日本酒「狸々」

人事

野々市市教育委員会教育長
大久保邦彦（栗田三丁目）
野々市市教育委員会委員
安嶋 是晴（本町二丁目）
野々市市公平委員会委員
小島 邦雄（押越二丁目）

- Q 総合型校務支援システムをどのように活用しているのか。**
- A** 児童生徒の名簿を一元化することにより、指導要録や通知簿の作成などを効率化している。県内で統一されたシステムなので市町間をまたいだ連絡ツールとしても機能的であり、教職員が市外へ異動になった際にもスムーズに使用できる。
- Q 管渠の老朽化の主な原因である硫化水素が発生しやすいところが市内には少なく、点検も適時行っており、その状況を見ても老朽化はほとんど確認されていない。**
- A** 児童生徒の名簿を一元化することにより、指導要録や通知簿の作成などを効率化している。県内で統一されたシステムなので市町間をまたいだ連絡ツールとしても機能的であり、教職員が市外へ異動になった際にもスムーズに使用できる。



朝倉 雅三 議員
(無名)

花火大会を行っては ドローンショーを行っては

花火大会は考えていません、ドローン ショーは支援をして行きたい

A 副市長 ●北陸鉄道の鉄道事業再構築事業については、15年間で総額141億円を見込んでおります。内訳は、設備投資に係る費用として、線路や電路の更新費が約73億9千万円、車両の更新費が39億5千万円であり、維持に係る費用として、線路や電路の修繕費が11億6千万円、車両の維持費等が約16億円とみております。

Q 北陸鉄道石川線について、国・県・市町の負担額が141億円と答弁がありました。各項目について事業計画策定の中で決めていくとのことでした。電線、電柱、送電設備、車両基地、鉄路、橋梁、駅舎など、合意した各予算内訳について、副市長に伺います。

A 建設部長 ●市主催の花火大会は実施することは考えておりませんが、ドローンショーは高い集客効果があると認識しておりますが、本市として実施することは考えておりませんが、各種団体より提案がありましたら、可能な範囲で支援してまいりたい。

Q 野々市中央公園拡張整備事業施設用地において、花火大会もしくはドローンショーを開催してはどうか、市長に伺います。

A 健康福祉部長 ●令和4年度22名、令和5年度45名、令和6年度51名であった。全体の7割が65歳以上で、自宅での搬送者は全体の5割以上を占めている。高齢者に対しては、地域包括センターや民生委員にも協力頂き、今後も市民へ継

A 副市長 ●議員指摘のとおり、本町1丁目の変電所は老朽化が著しい状況であります。現在、北陸鉄道と協議しているところで、決まり次第報告いたします。

Q 北陸鉄道石川線の変電所について以前は、4か所の変電所がありましたが、老朽化により道法寺変電所が運用を停止し、現在3か所となっております。3か所のうち本町変電所が一番古く、早めに交換もしくは新設しないと電車の運行が出来なくなると聞いております。変電所の更新時期について副市長に伺います。

A 副市長 ●地域公共交通協議会において、令和10年度から令和12年度更新する計画であります。今後、車両を更新するスケジュールや車両の仕様について決まり次第報告させていただきます。

Q 北陸鉄道石川線の車両について、60年以上経過し交換部品はなく、廃車両より部品取りしているという聞いております。比較的新しい車両に更新するにしても、20メートル車両では、西金沢の急カーブに対応できず脱線の可能性が高いと聞いております。新品の車両を発注すると仮定しますと、設計関係で1年、製作でも1年以上かかると思われます。車両の更新時期について副市長に伺います。

A 副市長 ●北陸鉄道、石川県北陸鉄道 鉄道事業再構築実施計画では、一部の駅で、ホームへの段差解消を図るためのスロープを設置することにしたしております。

Q 石川線で車いす対応している、陽羽里駅のようにバリアフリー化を検討しているか、副市長に伺います。

A 副市長 ●サイクルレーンにつままして、石川線全駅において自転車を持ち込めるよう、自転車用スロープの整備を進めていると伺っております。令和8年度以降石川線の全駅にて無料で持込が可能となる計画と聞いております。ホームペー

Q 北陸鉄道・鉄道部により、各駅において二輪自転車を乗せられるように改修を進めていると聞いております。段差を解消すれば、市民は自転車学校・買い物・病院へ行くことができます。沿線市民へどのような周知を検討しているか、副市長に伺います。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/yfEYi5-bHqQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西村 雅博 議員
(のいち市民の会)

明倫高校前の通りに「椿」をモチーフとしたデザイン街灯の設置を提案

野々市中央公園整備において、公園エントランス位置、明倫高校前に設置を検討する

Q 経常収支比率は93・9%であり、前年度対比0・1%減となっている。経常収支比率における過去1年間の増加抑制の内容と合わせ、総合計画で掲げた93・0%以内の目標達成に向けた取組について市長の見解を伺う。

A 市長 ●選択と集中を徹底し、事業毎の行政ニーズや市民への利益の提供、費用対効果などを慎重に判断し、場合によっては事業の延伸や中止などにより経費増大を抑制している。引き続き地道に経常経費の抑制に努める。

Q 実質公債費比率は令和6年6・1%と減少傾向であるが、地方財政白書の全国市町村の加重平均値は5・6%であり、0・5%上回っている事の評価、またその対応策について市長の見解を伺う。

A 市長 ●地理的条件や財政規模、地域課題などが相違するため、他と比較は難しい。令和7年度は市庁舎建設事業費、令和8年度には文化会館の大規模改修事業の市債償還するものの、中央公園拡張整備事業や公共施設の長寿命化など投資的事

A 健康福祉部長 ●令和4年度22名、令和5年度45名、令和6年度51名であった。全体の7割が65歳以上で、自宅での搬送者は全体の5割以上を占めている。高齢者に対しては、地域包括センターや民生委員にも協力頂き、今後も市民へ継

Q 過去3年間の熱中症搬送者実績総数、年齢層や搬送にいたるまでの状況分析し、実効性のある対応策が必要であるが、市長の見解を伺う。

A 地域政策部長 ●本市のクーリングシエルトは公共施設6か所・民間商業施設6か所を指定し、ホームページやSNSで情報提供している。住民の安心や体調管理面にも効果的であると思う。また無料で水分補給できるウォーターサーバーを公共施設4か所に設置し、市民の安全に努めている。

Q 市が現在実施している熱中症対策について、現状をどのように評価し、評価に関する課題認識について、市長の見解を伺う。

A 市長 ●PFI事業の継続も含め、どう選択するかは、事後評価結果を踏まえ総合的に判断する。野々市小学校を含む市内全小中学校の窓口を一本化する事により、良好な維持管理業務につながる可能性が高いと評価している。小学校給食センターや野々市市中央公園事業については、適切な時期にPFI事業終了後の管理手法の検討を行い判断する。

Q 事業継続の判断基準と評価方法について市長の見解を伺う。

A 市長 ●民間の資金と経営能力、技術力を活用した事業であり、効率的な施設管理、行政サービスの向上、財政負担の軽減などの効果が期待され、その結果として安全な施設整備やライフサイクルコストの抑制、施設の管理負担の軽減など維持管理業務の実施体制が構築された。

Q 本市におけるPFI方式を導入した公共公益施設について、現時点における事業評価について市長の見解を伺う。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 https://youtu.be/vkiI9Ob_Qal

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 義彦 議員
(野々市フォーラム)

市民協働のまちづくりにおける市長、市役所の役割を問う

旧北国街道賑わい創出のために地域資源の活用に関しては地域と行政が連携し、市民や、関係団体の意見が重要であるとする

Q 野々市じょんからの里マラソン大会のコースの変更について

A 市長 ● 旧北国街道にある地域資源をどのように活用し、賑わいを創出するかにおいては地域と行政が連携し、市民や関係団体の意見を反映させ、進めることが大変重要であるとする。本市としては関係団体や地域住民から、これからの旧北国街道賑わい創出に向け、北国街道賑わい創出協議会の設置が必要だとの地元の住民の機運が高まることを期待している。

Q いじめ防止条例制定時期と内容について

A 市長 ● 児童館や放課後児童クラブなど子どもにとって身近な場で意見を伝えられる環境づくりが重要。子どもの声を丁寧に受け止め、市政やまちづくりに活かしていくことは、市政において極めて重要。



旧北国街道



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/RiQtCZwx1Hg>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 和流 議員
(のいち市民の会)

「のっティ」にキャッシュレス決済を誰もが使いやすい交通へ導入を提案

導入は必要。具体的な検討を進める

Q 「のっティ」は4ルート各1日14便で市内を網羅しているが、導入は必要。具体的な検討を進める



「のっティ」は4ルート各1日14便で市内を網羅

Q 「のっティ」は4ルート各1日14便で市内を網羅しているが、導入は必要。具体的な検討を進める

A 市長 ● 児童館や放課後児童クラブなど子どもにとって身近な場で意見を伝えられる環境づくりが重要。子どもの声を丁寧に受け止め、市政やまちづくりに活かしていくことは、市政において極めて重要。



国道8号からの「ふるさと歴史館」の看板

Q 国の史跡「御経塚遺跡」に隣接し、縄文時代の土器や土偶など国の重要文化財4219点を収蔵・展示する「ふるさと歴史館」の魅力向上のために改善点を3つ挙げます。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/csc2U6EjoJ0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

「いじめ防止条例」で子どもたちに何を求めるのか

教育長 「条例による取り締まり的な要素は一切考えていない」

「いじめ防止基本方針」の形骸化が問題

いじめ調査報告書は、「いじめアドバイザー」から具体的な対応をとるようとの助言がされていたにもかかわらず、本生徒の側の意向・対応を漫然と見守るだけの対応に終始した学校の対応は、不適切で、本事業の長期化・複雑化・深刻化につながったことは間違いない」と指摘している。結局のところ、大人によって「いじめ防止対策推進法」「いじめ防止基本方針」が形骸化されていることが問題なのが明らかである。それで「いじめ防止条例」で子どもたちに何を求めるのか。屋上屋を架すことにならないか。

A 教育長 ● 条例による取り締まり的な要素は一切考えていない。市全体で子どもたち一人一人の尊厳と権利を守り、子どもたちが安心して成長できる環境を整えることを最大の目的として、検討を進めている。

いじめ調査報告書
「生徒らの心情に配慮した丁寧な対応がなされなかった」と指摘

いじめ調査報告書は、「学校や市教委の対応について、未然防止対応や早期対応、多様な専門職との連携による生徒らの心情に配慮した丁寧な対応がなされたとは認められなかった。本生徒及び生徒らは、本事業を通じ、生徒自身がお互いを理解し、また、より親密な人間関係を築く経験を学び獲得する機会になり得たかもしれない。しかし、生徒たちはその経験によって成長する機会を失ったともいえる。学校や市教委は、このことをよく理解しなければならぬ」と述べている。調査委員会の指摘をどのように受け止めているか。

A 教育長 ● 調査委員会の指摘は教育委員会として真摯に受け止め、今後の対応に反映させていきたい。特に、スクールカウンセラーの活用が、より進むよう、活用事例を共有するなど、心理的サポート体制を充実していきたい。

スクールソーシャルワーカーの配置を

増え続けるいじめ・不登校等に対応するために、スクールカウンセラーの常駐化とともに、ス



写真 野々市小学校校舎

野々市小学校の浸水対策は

8月6日から7日にかけての記録的な豪雨で、野々市小学校校舎の1階の職員室、校長室、会議室等と体育館の一部が浸水した。今後も同様の浸水被害が起きる可能性があり、浸水の度に児童が避難し授業ができなくなるのでは困る。対策を伺う。

A 市長 ● 貯留施設の整備など、多角的な視点から検討を進め、早急に対策を講じていきたい。



向田 誠市 議員

小中学校のプール老朽化が懸念される中、大改修工事になった場合の「プール授業」対応は

水泳の授業に影響のないよう工事計画の設定や、水泳の授業を市や民間施設のプールなど代替施設にて実施対応等を検討

「ラケーション制度」問題について

「ラケーション制度」導入により、家族と関わる機会を増やすことで「いじめ問題」、「不登校問題」等様々な問題について家族との話し合いの場となり、「家族との強い絆」を築くための良い機会と考えるが。

A 教育部長 ● 「ラケーション制度」は子どもが保護者とともに、平日に学校外で体験活動をおこなうために「休み」を取得できる制度で、子どもが主体的に学びの機会を得ることを目的としており、全国のいくつかの自治体で導入されており、家族で休日過ごすことのできない仕事従事者向けに、平日の家族旅行を推奨するというものです。愛知県では、「休み方改革」プロジェクトの一環として、家族で休日をごせない仕事従事者向けに、平日の家族旅行を推奨するというものです。家族と関わる機会を増やし、さまざまな問題について家族と話し合い、「家族との強い絆」を築くことは、とても大切なことではありますが、「ラケーション制度」については、

今後、他自治体の状況を捉え研究していきます。

「改正道路交通法」問題について

本市に関わる職員が「改正道路交通法」に違反した際の対応、対応等について伺います。

A 市長 ● 道路交通法をはじめとする法令厳守は、行政運営の基本であり、職員一人ひとりが率先して模範となるべきものと認識しております。議員おはなしの改正道路交通法、いわゆる自転車の「ながら運転」及び「酒気帯び運転」における罰則強化については、施行後直ちに、部課長会議や庁内掲示板を通じて全職員に周知し、安全運転の徹底を図っております。今回の改正道路交通法に限らず、職員による交通違反が確認された場合には、直ちに事実を確認し、必要に応じて厳正な指導・注意、服務規律に基づく処分を行うこととしております。

不登校問題に関する件について

本市における不登校の小学生中学生の実態は、小学中学生全児童生徒数の何%になりますか。実態等について報告願います。

A 教育部長 ● 文部科学省が実施した「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における本市の調査結果についてご報告いたします。まず、不登校についてですが、文科科学省では、不登校を「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは、したくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しております。本市における不登校児童生徒数は、小中学校合わせて188人で、児童生徒全体の約3.8%にあたります。校種別では、小学校で80人、児童全体の2.4%、中学校で108人、生徒全体の6.9%となっています。なお、この調査では、市教育センターのふれあい教室やフリースクールをはじめとする民間施設等を利用している児童生徒も欠席としてカウントされ、先ほどお示した188人の中には、これらの施設で、相談や指導を受けたり、学習をしたりしている児童生徒が含まれていることを、あわせてご理解いただきますようお願いいたします。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、<https://youtu.be/heEleX95Ck4>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、https://youtu.be/kEjQ_-Tq0HY



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員
(令和清栄)

野々市小学校の水害対策を急げ

排水施設や貯留施設の整備などを 多角的な視点から早急に対策する

Q 厚生労働省は労働安全衛生規則を改正し、今年の6月から、事業者に対し罰則付きの熱中症対策の義務化を行った。ここでは、働く場所が屋外か室内かの限定はしていない。市役所の職員の熱中症対策が必要だ。来庁者からも、夏場の暑さを指摘する声が聞かれることから、庁舎内の温度管理の見直しが必要なことは明白だ。積極的に取り組む

職員の熱中症対策について

A 市長 ● 野々市小学校の浸水対策については、周辺の雨水流入を防ぐような排水施設の整備や、大量の雨水を一時的に貯留する「貯留施設の整備」など、多角的な視点から早急に対策を講じていきたい。

かがか。

Q 8月7日の豪雨によって、市内各所の道路が冠水し、野々市小学校の校舎1階と体育館が浸水した。災害時の避難所に指定されている体育館が床上浸水したことは、深刻な問題だ。冠水した周辺の道路からグラウンドに流れ込んだ水が溢水したことが原因ということであるので、大至急グラウンドの排水能力を改善する必要があると考えるがいかがか。

Q 私は、昨年の12月定例会で授業の外部委託を提案した。今回、先進地である鹿児島市を視察してきたことで、さらにその有用性を確信した。デメリットは移動時間くらいで、メリットのほうが、はるかに大

水泳授業の外部委託について

A 総務部長 ● 市役所庁舎内においては室温が27度程度となるように調整しているが、今年の異常な猛暑に加え、庁舎の吹き抜け構造が影響し、部分的に室温が上昇する箇所があることから、設定温度を下げたり、サーキュレーターを配置するなどの対策をしている。それでも、室温の上昇を抑えられない場合には、空調稼働時間の見直しやスポットクーラーの導入など、効果的な対策を柔軟に検討する。次に、熱中症対策義務化に対する取り組みについては、「熱中症対策マニュアル」を策定し、全職員に周知したところであり、全庁一丸となって取り組んでいる。

んでいただきたい。併せて、本市の熱中症対策義務化に対する取り組みを伺う。

A 教育部長 ● 学年や特性が異なる児童生徒8人を一人の教職員が担当しており、業務負担が過重となっていると感じている。限られた人材の中で、支援員の効率的な配置や質の向上、業務内容の見直しや改善などで、効率的な支援を提供できよう努める。

きたい。

Q 支援学級の定数改善が困難な現状であるなら、せめて支援学級専属支援員を増員していただきたい。

特別支援学級専属支援員を増員せよ

A 教育部長 ● 市内小中学校のプールは、老朽化により修繕が必要な箇所はあるが、順次対応しており、水泳授業を実施することは可能である。しかし、将来的な施設の老朽化による更新を見据え、水泳授業の民間委託も選択肢の一つになると考えている。

A 教育部長 ● 市内小中学校のプールは、老朽化により修繕が必要な箇所はあるが、順次対応しており、水泳授業を実施することは可能である。しかし、将来的な施設の老朽化による更新を見据え、水泳授業の民間委託も選択肢の一つになると考えている。

さい委託授業は、小松市で今年、六つの小学校で実施した。費用対効果を検証し来年度以降さらに拡大できないか検討する。子どもたちの安全・泳力向上のためにも、水泳授業の外部委託をすべきと考えるがいかがか。



梅野 智恵子 議員
(のいち市民の会)

野々市市子ども食堂ネットワークの今後の取組について伺う

市社会福祉協議会とともに安全・安心な こどもの居場所づくりに努めてまいりたい

A 市長 ● 地域社会の持続的な発展に寄与することを目的とした包括連携協定であり、「健康・福祉の増進」「子育て支援」「食品ロス削減」「防災、安全・安心なまちづくり」「持続可能な社会を実現するための施策の推進」に関連する課題について緊密な連携と協力のもと取り組む。協定締結式ではこども食堂代表者ほか、市社会福祉協議会が参加し、フードドライブポストの設置式をおこない、現在市内5か所にフードドライブポストが設置されご寄付いただいた食品は市内6か所のこども食堂で活用されている。こども食堂の運営には企業等からの支援が不可欠であり、引き続き支援の輪が広がるよう、さまざまな機会を通じて働きかけていく。

市民協働とこどもの居場所づくりについて

Q 本市とバローホールディングスとの協定内容と、こども食堂への寄与状況、今後さらに支援企業の開拓や民間との協定を広げていく考えはあるか伺う。



野々市市と株式会社バローホールディングスとの包括連携協定締結式及び「フードドライブポスト」設置式の様子

A 健康福祉部長 ● 金沢市の事業は先駆的な実践例の一つとして注視しており、本市においても「重層的支援体制整備事業」における参加支援事業と「野々市市こども食堂ネットワーク」の連携を通じて子どもや家庭を包括的に支える仕組みを進める。ニーズを丁寧に把握するとともに、国の補助金の活用も視野にいたれた多様な支援の在り方について検討を進める。

Q 野々市市こども食堂ネットワークの枠組みを利用し、金沢市の「子どもの居場所づくり総合支援事業」のように新たに子どもの居場所を開設する団体等への支援を目的とした事業として位置づけていただきたい。

野々市市じゅんからまつりについて

Q 子どもたちや子ども会役員、保護者が安心して会場まで移動し参加しやすいよう従来からの送迎バスの復活や駐車場の確保など子ども会負担軽減策について伺う。

A 地域政策部長 ● パークアンドライド推奨の観点から市内5か所からシャトルバスの運行をした。じゅんからまつり実行委員会にもお伝えしたい。

水害ハザードマップアプリについて

Q 住民が迅速かつ安心して行動ができるよう、水害ハザードマップアプリ導入を検討してはいかがでしょうか。

A 市長 ● スマートフォンなどを操作する能力にばらつきがあること、個人が使用するアプリ等が多様化しており、統一されていないのが実情である。幅広い年齢層の方が利用できることを前提とし、他市の先進事例を参考に引き続き調査研究していく。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/FFSYEZfBg04>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/blQj100xcxs>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

採択された意見書

地方財政の充実・強化に関する意見書

2026年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求める。

社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。

など計7項目

脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書

脳脊髄液漏出症（減少症）は、交通事故などで硬膜から髄液が漏れ出すことにより頭痛や頸部痛、めまいなどの様々な症状が生じるとされ、県のホームページにも、様々な情報提供がされているが、疾患の認知度は低く多くの患者が救済されていないと報告がある。国会及び政府において、公平性や透明性を確保し適切な措置を講ずるよう要望する。

自賠責保険の脳脊髄液漏出症に関する後遺障害等級の認定手続として、高次脳機能障害（自賠責保険高次脳機能障害認定システム）と同様に専門医による認定システム（脳脊髄液漏出症認定システム）の仕組みを設置すること。

など計2項目

12月定例会の予定

会期：11月28日(金)～12月16日(火)（19日間）



日	月	火	水	木	金	土
11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28 午前10時～ 本会議 開会 生中継	11/29
11/30	1	2	3	4	5 午前10時～ 議会改革特別委員会	6
7	8	9 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	10 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	11 午前10時～ 予算決算常任委員会 午後2時～ 野々市中央公園拡張 整備事業に関する特別委員会	12 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	13
14	15 午前10時～ 予算決算常任委員会	16 午後2時～ 本会議 閉会 生中継	17	18	19	20

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

